

有識者アドバイザー等からの提供資料

森地先生からの提供資料(抜粋)

宇都宮と前橋・高崎を含む生活圏の比較

- ①進学世代や高齢世代では増減量は同程度
- ②就業世代は宇都宮は維持し、他圏は減少

宇都宮及び周辺市の人口変化量を確認

宇都宮周辺市のさくら市がベッドタウンを形成し、就業世代の人口流入を増加させ、宇都宮生活圏としての都市機能を維持

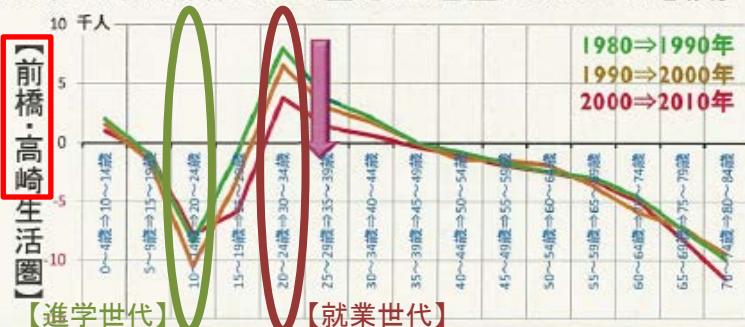
前橋・高崎

修士論文研究発表会20150224

◇生活圏別の総人口変化量◇

(1) 各県庁所在地を含む生活圏の比較

人口規模等の都市としてのレベルを鑑みて、首都圏6県の県庁所在地を含む生活圏において比較。



【進学世代】 【就業世代】

進学: 転出 就業: 転入

特徴: 年代を追うごとに転入量が減少傾向

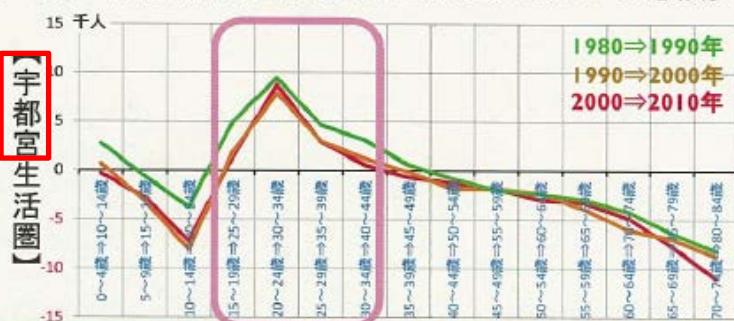
宇都宮

修士論文研究発表会20150224

◇生活圏別の総人口変化量◇

(2) 各県庁所在地を含む生活圏の比較

人口規模等の都市としてのレベルを鑑みて、首都圏6県の県庁所在地を含む生活圏において比較。



【宇都宮生活圏】

進学: 転出 就業: 転入

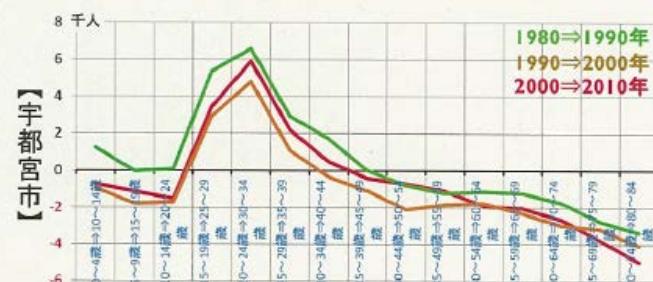
特徴: 年代を追っても転入量を維持

◇生活圏別の総人口変化量◇

修士論文研究発表会20150224

(3) 各県庁所在地を含む生活圏の比較

宇都宮生活圏を自治体に分解



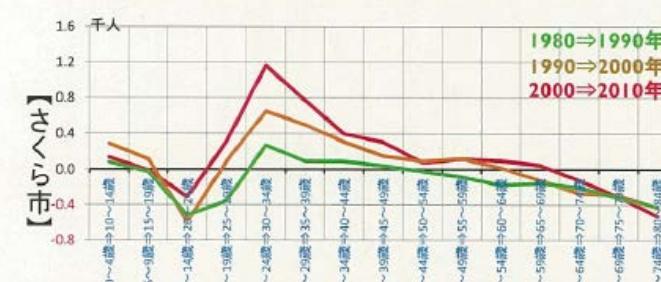
進学・就業ともに転入

◇生活圏別の総人口変化量◇

修士論文研究発表会20150224

(4) 各県庁所在地を含む生活圏の比較

宇都宮生活圏を自治体に分解



就業世代の転入、宇都宮市のベッドタウン

◇生活圏別の総人口変化量◇

修士論文研究発表会20150224

(5) 各県庁所在地を含む生活圏の比較

宇都宮生活圏を自治体に分解



宇都宮市を中心都市とし、周辺にベッドタウンを形成させており、減衰する地域を包括し、都市機能を維持している傾向にあることが判明

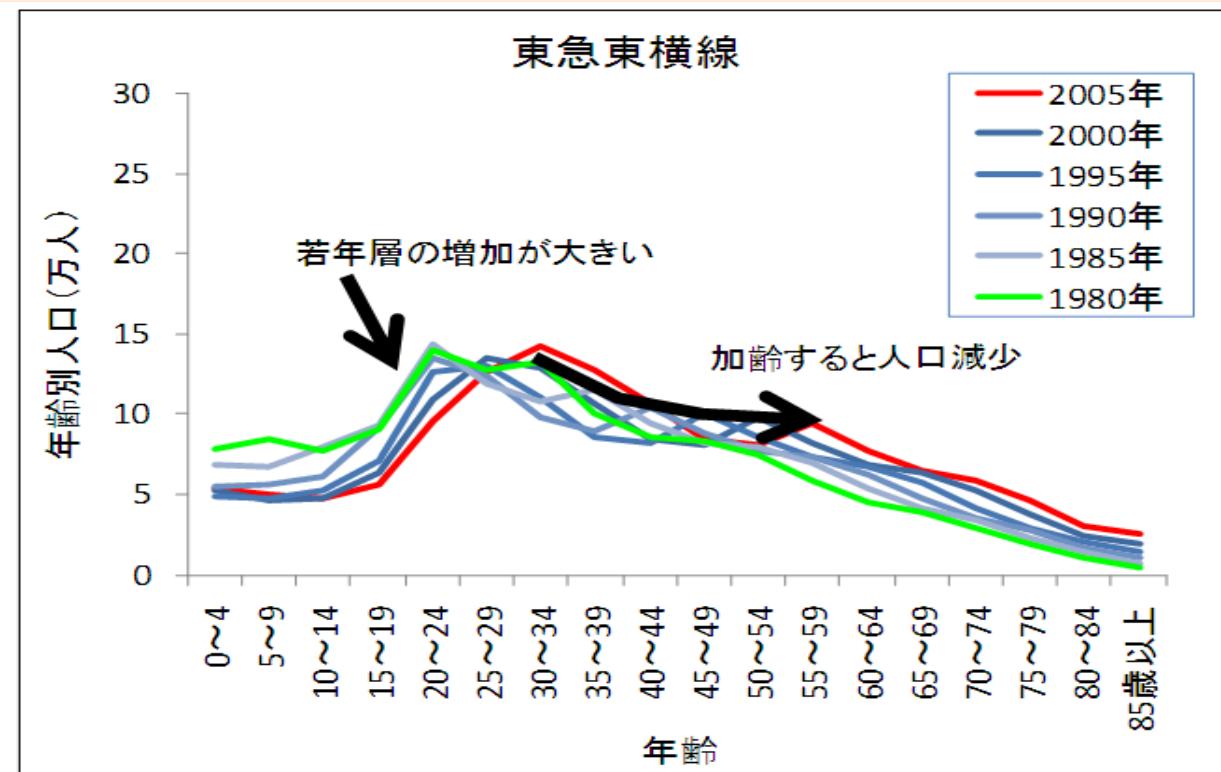
森地先生からの提供資料(抜粋)

鉄道沿線別の人口構造 (年齢構成の変化)

東急東横線沿線

若年層の転入

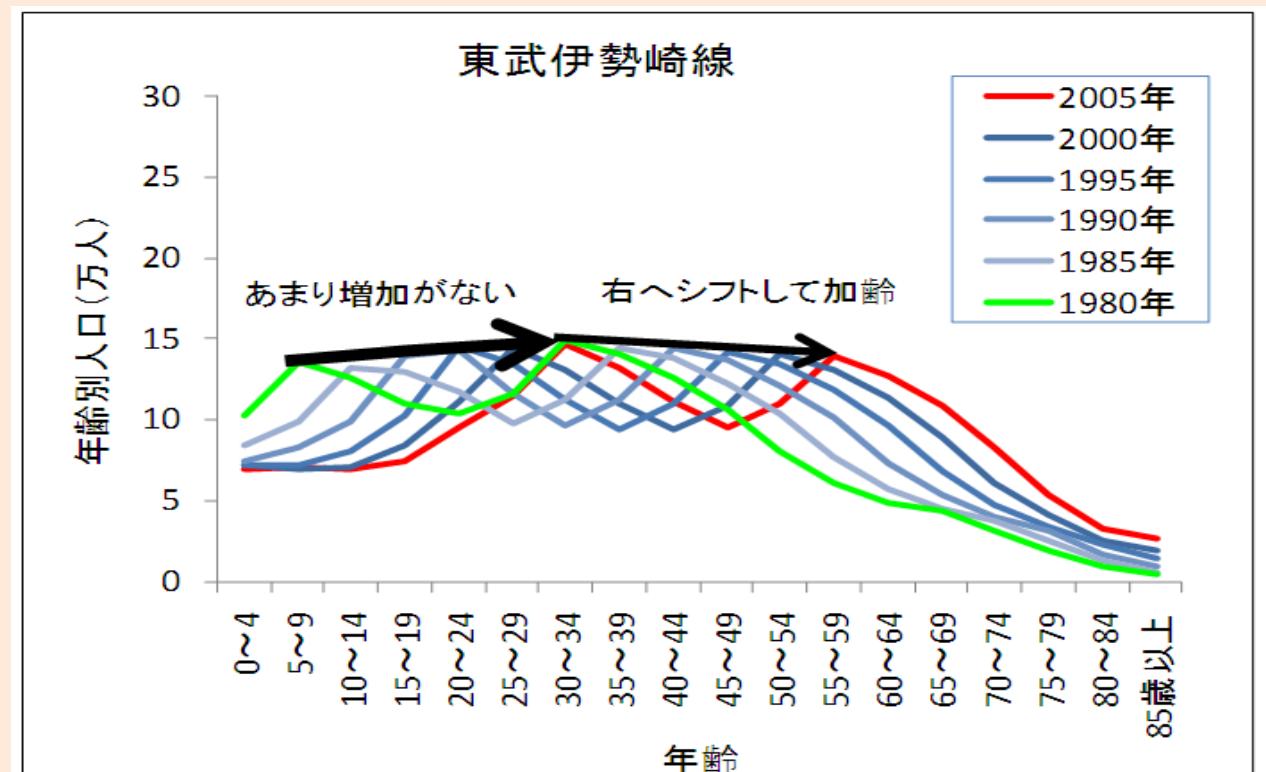
高齢層の移動： 都心、郊外駅周辺



東武伊勢崎線沿線

年齢構成分布形が変わらず、右に移動

高齢化が進行



「人と国土21 2014.1 人口減少下で衰退しない国土」
より抜粋

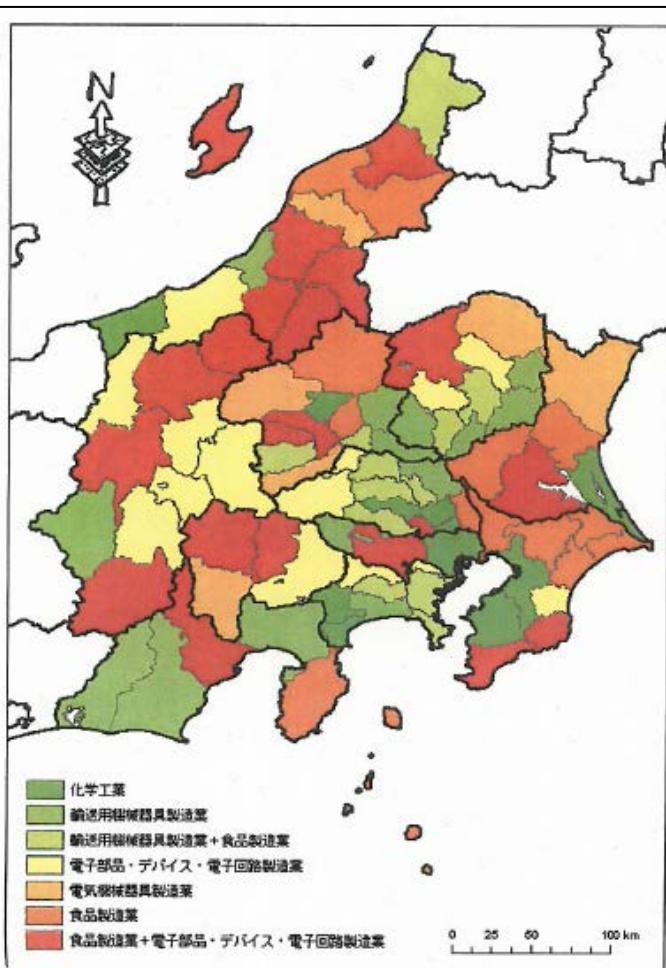
松原先生からの提供資料(抜粋)

○北関東－甲信越を食品製造業が分布

・例えば、北関東は自動車産業がリードしているように見えるが、食品製造業の立地が伸展。

○東京都心に文化産業が集中

・サービス業のうち、映像コンテンツ・音声コンテンツなどは主に港区、渋谷区、文京区に集中。



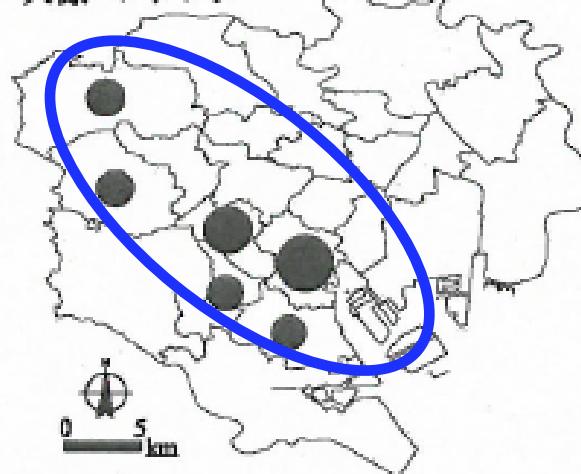
分析方法

- ①2009年経済センサスの広域市町村圏を単位に、製造業中分類の事業所従業者数をもとに業種別の対全国特化係数を算出。
- ②特化係数が1以上の業種をもとに、修正ウィーバーにより、広域市町村圏を特徴づける業種を選定。
- ③選定された業種の組み合わせをもとにクラスター分析を行い、広域市町村圏をグルーピング。

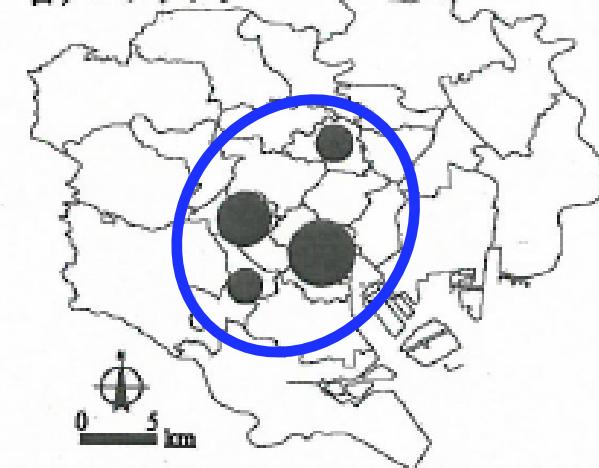
図7 クラスター分析による
広域市町村圏の類型化

出所：2009年経済センサスより作成

映像コンテンツ



音声コンテンツ



インターネット 付随サービス業

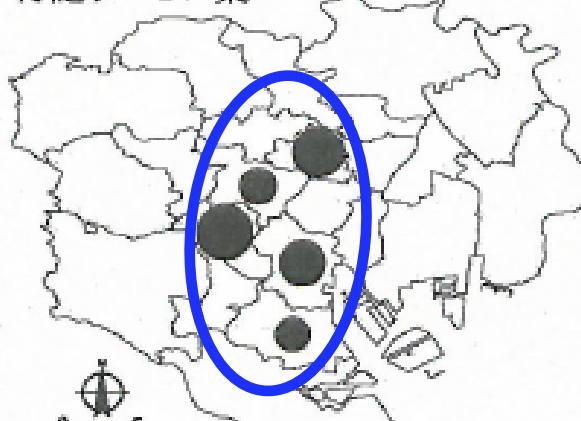


図12 文化産業の集積

注：23区に対する特化係数1以上の区について特化係数の大きさを円で示した。
出所：「事業所・企業統計調査」(2006)による